

「BELIEVE」

BELIEVE

2013
春号
VOL.44

「BELIEVE」

● 外来・入院アンケート調査

● シリーズ 情熱の白衣・看護師レポート



小鳥はとっても楽しそう
光を浴びてあたたかい
みんなそれぞれ違う色
きれいな色が好きみたい

小鳥さん 小鳥さん
わたしの近くにいらっしゃい
お話できるといいのにね
きっとかわいい声でしょう

鳥たち 岩崎 菜摘子 ・制作年/2003 ・素材/ペン ・100×148mm

彼女にとって絵を描くことは、心の循環をしてくれる欠かせないこと。
「鳥たち」について、制作の想いをことばにしたためています。
(大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています)

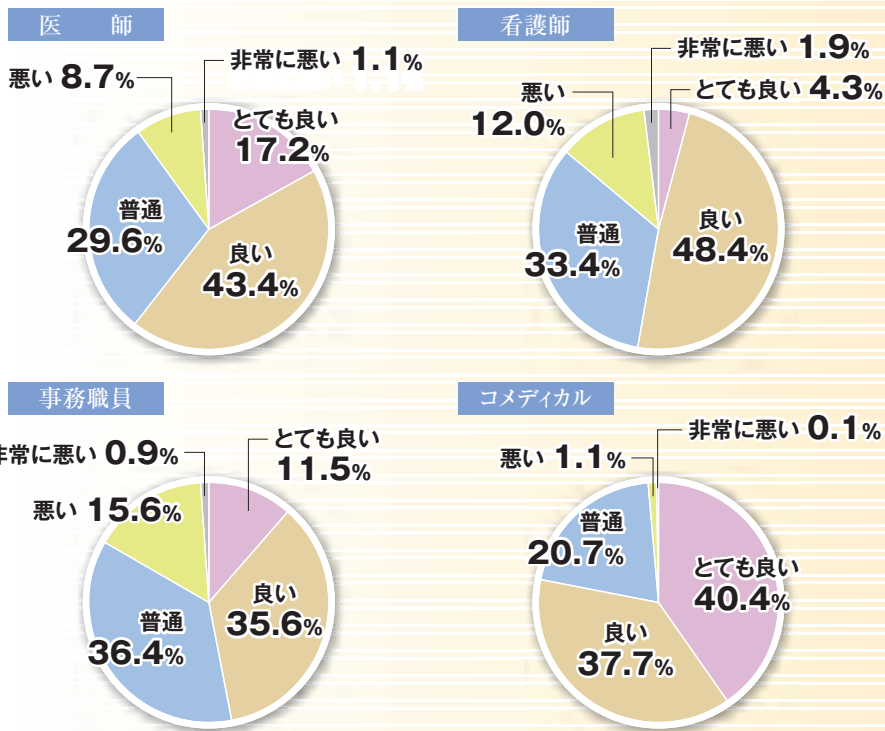
大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかよう高度の医療をめざします

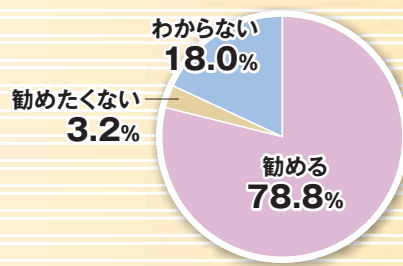
患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します

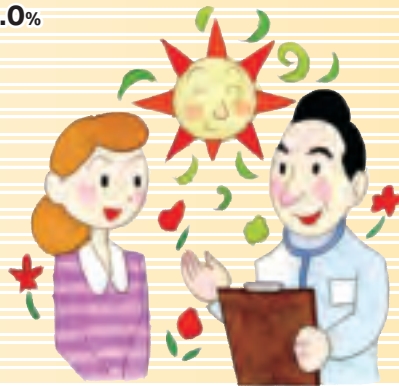
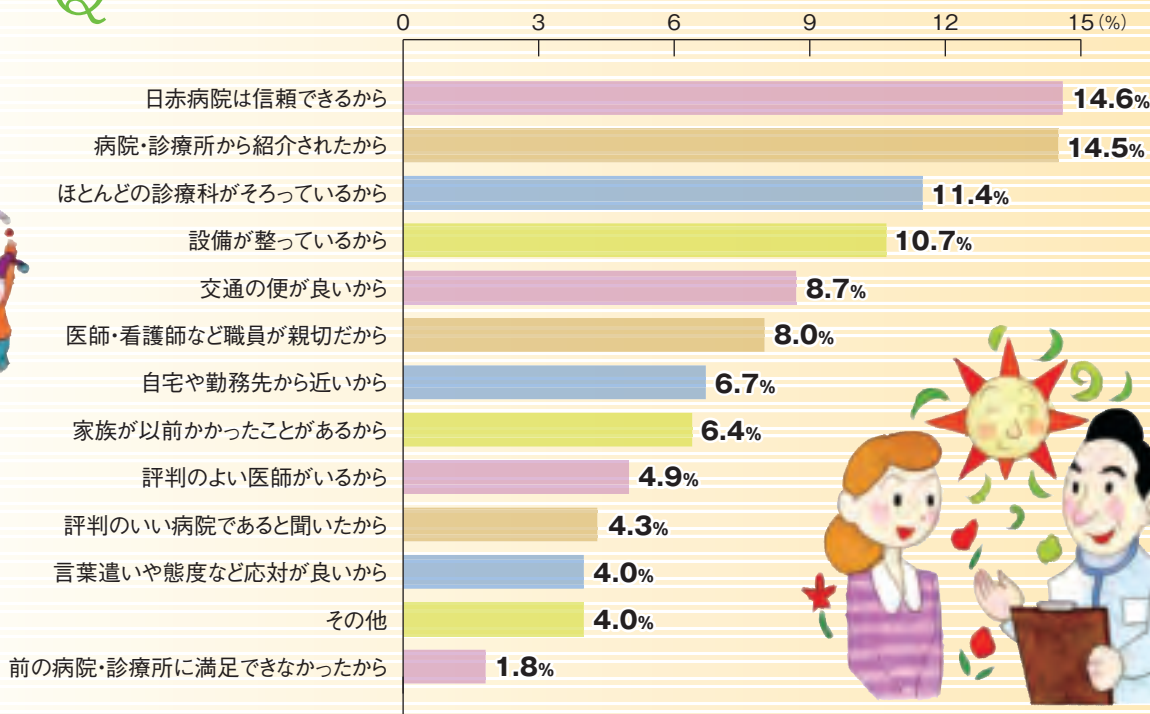
Q 総合的に見て、職員の対応はいかがですか?
※それぞれ全体の平均値



Q 知人や家族に当院を受診するよう勧めようと思いますか?



Q 当院を選ばれた理由をお聞かせください。 ※複数回答可



お褒めの言葉をいただきました

外来患者さまより

- 季節ごとの(お雛様など)飾りは、とても良いと思う。続けてほしい。癒される。
- 病院では非常によくしてもらっています。先生方の研究心が患者に伝わってきます。いつも周りに伝えていきます。私は難病です。家族の中でも娘二人が難病です。その中で心のかよう治療をしていただいております。ありがとうございます。感謝の日々です。
- 長年通院しています。いつも気分がよくなります。
- 永い間、お世話になっていますが、すべてにおいて満足と信頼をしています。今後ともよろしくの一言です。
- 医師はもちろん職員さんすべてとても親切です。安心して医療が受けられることに、とても感謝しています。
- ここ最近、雰囲気明るくなったように感じられた。すごく、良いこと。

入院患者さまより

- 温かい感じがあって良いと思います。先生も腰が低くて質問もしやすく、ありがたいです。
- 術後、何度もご回診いただき心強い。
- 忙しいときに声をかけても、とてもやさしく親切に対応してくれたし、私たちのことを常に気づかってくれているのがいっぱい伝わってきました。つつい退院したくないと思うほどに、居心地良く過ごさせていただきました。この病院を選んで本当に良かった!! ありがとうございます。
- きめ細かな看護をしていただき、家族の負担がなく安心してお任せできました。ありがとうございます。
- 看護学生の方にも良い援助をいただきました。とてもさわやかでした。
- いつも丁寧な対応でした。忙しい中、いろいろ相談ののってもらったり、励ましていただいたり、本当に感謝しています。
- 病院を信じていますので安心です。
- 服薬指導の方がとても親切でした。

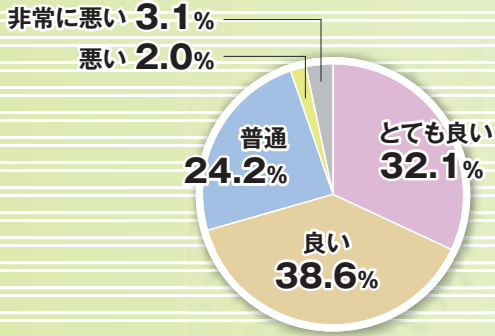
外来・入院アンケート調査

● 調査対象／大阪赤十字病院 通院中・入院中の患者さま
● 調査方法／無記名回答、外来：1・2・3・4階へ調査用紙設置、入院：調査期間中に入院している患者さまへ用紙配布

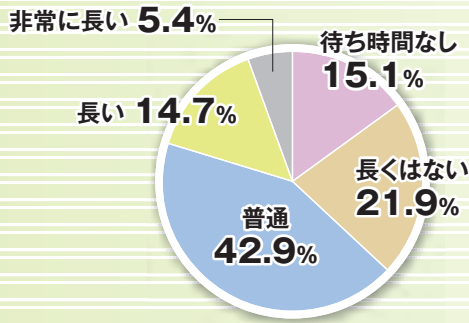
平成25年2月18日(月)～3月1日(金)にかけて「外来・入院アンケート調査」を実施いたしました。今回はその結果をご報告いたします。皆さまの貴重なご意見をもとに、ご期待に添えるよう、また「こころのかよう高度の医療」を提供しているよう全力を尽くしてまいります。アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

外来 外来患者さまより

Q 当院の建物・設備の快適度はどうでしたか？



Q 待ち時間はどうでしたか？

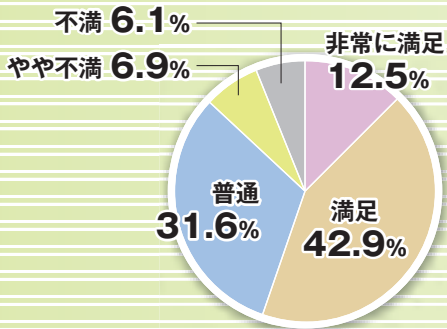


皆さまからの
ご意見

- ・予約していても、すごく時間が遅れることがある。
- ・初診の待ち時間が2時間かかり、疲れました。
- ・具体的な説明がないのでいつまで待つのか不安になります。

待ち時間にかかるご意見を多数いただきました。患者さまには、大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。
事前に予約していただいておりますが、患者さまの症状により診療に要する時間が長引くこともあり、時間通りに診察できていないのが現状です。また、平成25年1月より電子カルテの導入直後で、大幅に待ち時間が長くなっています。そのような状況のなか、初診の患者さまの診察も行うため、長時間お待たせしております。
皆さまのご要望に応えられるよう、当院内でも専門の委員会などで検討し、待ち時間短縮のため努力してまいります。
もしもお待ちいただいている間に、体調が悪くなられたり不安なことがあれば、受付にお申し付けください。

Q 総合的に見て、外来のサービスに満足していますか？



皆さまからの
ご意見

携帯電話の使用場所がわかりにくい。

- 当院では、下記の場所においてのみ携帯電話のご使用が可能です。
1. 本館1階玄関ホールの公衆電話周辺
 2. 本館2階総合ホールの公衆電話周辺
 3. 本館7～13階病棟の公衆電話周辺（東館ではご利用できません。）
 4. 1人部屋の病室（主治医または看護師の許可が必要となります。）



皆さまからの
ご意見

荷物を置けるロッカーがあればいいのですが…。

コインロッカーが1階正面玄関エスカレーター下にあります。そちらをご利用ください。



皆さまからの
ご意見

初めて来た人に、もう少し診察の順番や説明などを案内してほしい。

患者さまにはご不便をおかけし、誠に申し訳ございません。
診察に来られた際、初診の方も再診の方もどこに行っていくのかわからない、ということをよくお聞きします。また診察が先なのか、検査が先なのかなど、不安に感じられることもあるかと思えます。当院では、受付時に発行される受付票や診察後に検査をする場合には、スケジュール票をお渡ししております。そちらをご参考してください。また、初診受付や自動受付機、各外来受付および自動精算機などの付近には必ず係員がいます。少しでもわからないことがあれば、ご相談ください。

入院 入院患者さまより

皆さまからの
ご意見

テレビをイヤホンで聞かない人がいる。ルールは徹底してほしい。

患者さまそれぞれが最適な環境で療養するためには、一人ひとりのモラルが必要になってきます。病院もそのために最低限のルールを作らせていただいておりますので、お守りくださいますようお願いいたします。また、入院生活において、困ったことや不安なことがあれば、病棟の看護師にご相談ください。

皆さまからの
ご意見

食事が私にとってはうす味です。好みに調味料を持って来るのはダメですか？

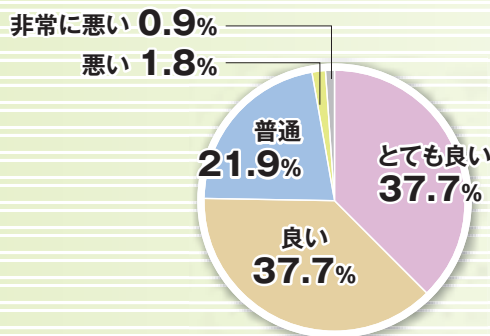
日本人の塩分摂取量は平均して約11gと多くなっており、病院では9g未満になるように調理しています。また患者さまの疾患によっては塩分をより低く設定していることがあります。そのため調味料を持参する場合は、一度主治医にご確認ください。

皆さまからの
ご意見

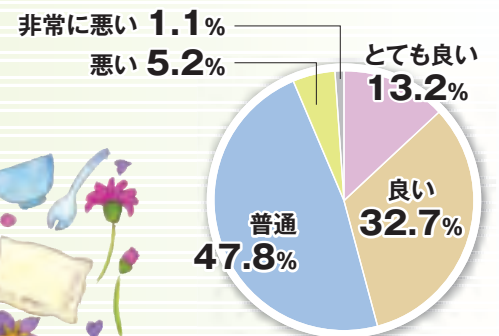
入院生活(食事、日々実施事項の時間帯・予定など)に関する的確な情報がほしい。

入院のパンフレットおよび当院ホームページに掲載しています。ご不明な点は入院申込時にお尋ねください。

Q 当院の建物・設備の快適度はどうでしたか？



Q 食事についていかがでしたか？

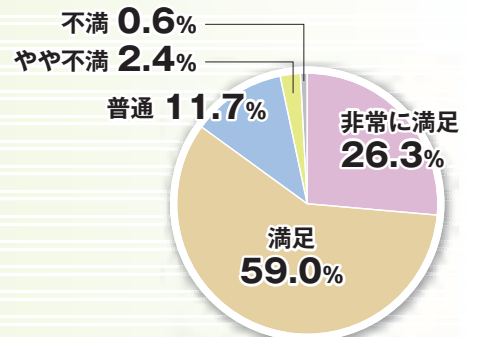


皆さまからの
ご意見

お見舞いの方や外来患者の方で、咳やくしゃみをしていてもマスクをしていない方が多いので、もっと徹底してほしい。

マスク着用については、ポスター掲示にて周知しております。マスクの販売については、自動販売機の設置、またはコンビニでも販売しておりますのでご利用ください。
咳やくしゃみが頻繁に出る患者さまには、職員からマスク着用をお願いを努めてまいります。十分行き届かないこともございますので、かぜ・インフルエンザなどの感染を心配される方は、マスクの着用をお願いいたします。

Q 総合的に見て、入院中のサービスに満足していますか？



小児科 部長 住本 真一

当院で20年子どもの健康に携わる



SHINICHI SUMIMOTO

1月1日、大阪府生まれ。京都大学医学部卒業後、同附属病院小児科に勤務。財団法人住友病院小児科医員を経て、1993年当院小児科医員に。昨年当院小児科部長に就任。当院に赴任して20年、診療のほか講演、京都大学医学部臨床教授としても活躍している。

「今日の医療は心臓、消化器、神経などと臓器別に分かれているのですが、小児科はトータルに診察ができる。それが小児科医の興味深いところです。子どもの場合は感染症、アレルギーや精神的なものなど、苦しい痛い部分だけではなく、全体像をふまえて診ることが必要なんです」。

「野球選手になりたい」「昆虫や植物が好き」。野山や原っぱで遊び回っていた方で、よく風邪を引いて病院に行っていた幼い頃。住本医師が医師になったのは「命に関われる仕事、医療の仕事に就きたい」と思っていたからだそう。話しながら常に見せる笑顔は子どものようで、小児科医が似合う(?)と思わず納得する人も多しはず。

薬・注射の治療だけでなく、生活上で対応する病気が増えています。

辛いとき、元気なときの子どものもは正直。元気になった、その笑顔を見るのが一番うれしい。

毎日の診察以外にも緊急入院があつたり、自転車操業のような日々。それでも「具合が悪く辛そうな顔をしていた子どもが、元気になる笑顔で帰っていくんですね。その笑顔は子どもからの感謝の印。笑顔を見るために仕事をしていると思います」と笑顔で語る住本医師。

トータルに診察できるからこそ、難しい面もある。住本医師が小児科医になった頃と現在とでは、子どもがかかる病気にも変化があるのだそう。「当時は、はしかや水ぼうそうなどの感染症にかかると子どもを診ることが多かったのですが、今はアレルギーや肥満、心身症など多様化しています。薬や注射の治療ではなく、生活上での対応が治療となる病気もあり、そのような場合は病院だけでは収まりません。『こういう病気ですよ』と診断をすること、小児科だけで治療するのか、そうでないかの判断が難しいですね」。

ジム通いは体力づくりとストレス発散。家では愛犬に癒されています。入院する子どもは年間約1800人、診療数はその倍という。毎月4〜5日の当直にもあたる住本医師の癒しは、愛犬チョコとの朝の散歩。また、ジム通いも続いている。「スタッフが体調を崩したことがきっかけで、体力づくりのために通っています。ストレス発散にもなるし、風邪をひかなくなりましたね」。



愛犬チョコ(ミニチュアダックスフンド)。「帰るとダーっと駆けてきてくれるんです。癒されますね」。

「子どもは正直。元気になった笑顔が可愛いですね」という住本医師の診療は、『いつでも、なんでも、どんなことも診ます』というスタイル。「子どもの診察は外科の場合でも、まずは小児科で診ます。赤十字という伝統的な医療、府下の東エリアに密着した当院で、安心して診察を受けに來てもらいたいですね」。

住本医師をはじめ、小児科は若手医師、女性医師たちのマンパワで運営中。365日・24時間、にぎやかながら、いつでも頼れる医療が整えられている。

看護師レポート◆44

看護の質が上がる、患者さまの治癒に役立つ電子カルテに 藤川 由紀



小学生の頃、なぜか保健委員になることが多く、よく保健室を訪ねていました。進路を考えるときには、養護教員か看護師になりたいと思っていましたね。当院の看護師になって10年、昨年4月より情報システム担当になりました。

当になり、電子カルテ導入の際の整備や運用など、看護師の立場から「どうすれば使いやすいか」を検討・実践していく仕事をしています。

看護師の仕事といえば、患者さまの体を拭いたり、注射したりというイメージを持つ方も多いと思いますが、実は仕事の多くが看護記録にあっていきます。たとえば「発熱がある」という記録は、次に患者さまにどんな変化があり、どんな看護が必要になるかを予測する材料になります。忙しくて記録が後回しになると情報が遅れ、口伝えになると内容が正しく伝わらず、適切な看護や治療が遅れてしまいます。電子カルテはそれらを防ぐだけでなく、患者さまのベッド際で、状態を聞きながらノート型端末に記録できることで、患者さまに関われる時間も多くなる利点があります。これまでは電子カルテをどうスムーズに導入していくかの活動でしたが、今は便利な使い方、蓄積されたデータの活用法を検討しているところです。



小学5年生、1年生、1歳の姪っ子3人と仲良しショット。4人で公園に遊びに行くなど妹さんからは「保育園のよう」と頼られているとか。

現場と違って毎日デスクワークのため、始めは座っていると落ち着かなかつたですね。生活は規則正しくなると、休みに友人と会えるようになり、食べ歩きを楽しんでいます。妹とその子どもたちがよく家に来てくれるので、家や公園と一緒に遊んだりもしますね。

この仕事を通じて、病院外の他職種の方に、当院の方針や看護について説明する機会が増えました。病棟勤務の頃にはわからなかった病院全体の動きを知り、看護について現場で働く以上にとっても考えさせられています。より簡潔に、よりわかりやすく使える、そして質の高い看護が提供できるよう、患者さまのために電子カルテを目指しています。

旬の食材と 栄・養・素

栄養管理課 管理栄養士 山口 翔平

スーパーやテレビなどでよく耳にすることがある、『旬』という言葉。旬とは、何を指すのでしょうか。食材それぞれには、収穫時期というものがあります。春に穫れるもの、夏に穫れるもの、それぞれが適した時期に多く収穫できるものを『旬』と言います。最近では露地栽培、促成栽培などや輸入食材によって、食品売り場ではいつでも同じような食材が並んでいると思います。しかし、旬の食材はその時期に一番栄養価が高く、また市場に一番出回るため、値段も通常より低くなります。従って旬の食材を知り、料理に取り入れることが、身体にも家計にもやさしい食材選びだと言えます。

春の食材

- 海産物／鰹(かつお)、鯖(さば)、真鯛(ま鯛)
- 野菜／キャベツ、たけのこ、アスパラガス、菜の花、など
- 果物／いちじく、びわ、いよかん、メロン、など

鰹

温暖な気候で産まれた鰹は、太平洋沖の黒潮に乗って日本を北上します。九州では3〜4月、東海、関東には5月〜初夏に漁獲が増え、この時期に獲れる鰹を初鰹と言います。この時期に獲れる鰹は、秋に獲れる鰹を戻り鰹と言います。

鯖

鯖は胴体が細長く、『狭い腹』から『狭腹』(サワリ)と呼ばれています。春先に産卵のために沿岸に近づくと、日本では春によく見かけることから、『春を告げる魚』という意味であてられた漢字だと言われています。



青魚には、DHA・EPAが多く含まれています。これらの成分は、血液の中性脂肪コレステロールを低下させる働きを持っているため、動脈硬化、脳梗塞、心筋梗塞、高血圧予防に良いと言われています。しかも、これらの栄養素となる成分は、人の体内で作ることができないので、口から摂取する必要があります。ぜひ、今が旬の青魚を積極的に摂るのうに心がけましょう。

がんサポートチームからのお知らせ vol.18

アドバンス・ケア・プランニングって 知っていますか?

緩和ケア外来担当医 端 裕之

がん医学の進歩により、がんを持ちながら、日々の生活を送っている方々が大幅に増える時代になりました。また、それに伴うさまざまな苦痛を、できる限り和らげることが目的としている緩和ケアも、広く知られるようになってきました。このようなかで、最近注目されているアドバンス・ケア・プランニング(ACP)をご紹介します。



ACPとは、『患者さまがこれからどのように過ごしていきたいかを医療者が判断するのではなく、患者さまと家族、医療者の間で話し合いをしながら決定して進んでいくプロセスのことを言います。病気をどのよう去面对するかと誰もが考えられると思えます。今までできなかったことや行けなかった所に行きたい、家族との時間を大切にしたいなど、今までと変わらない暮らしを望まれる方から、何か新しいことを考えられる方まで、希望は人それぞれです。同様に、病状や予測される見通しも、患者さまによって異なります。病気がもたら

すさまざまな苦痛と、それに伴う不自由さの中で、どのように希望を叶えていくか。ここで療養していただき、治療やケア、医療サービスをどのようにして患者さまの価値観に合ったものにするのかなど、患者さまとともに考えていくのです。

ACPは、多職種医療者が関わり、いわば『オーダーメイド』の緩和ケアといえます。ACPを行うことで、その人らしい生活を送ることをサポートし、ひいてはより質の高い生活を送ることにつながる言われています。病気になる、身体的、心理社会的、経済的なストレスが生活に大きな影響を与えます。しかしながら、最近では、早期からの緩和ケアで、そのストレスにきめ細かく対応することにより、抗がん剤治療と同じような延命効果があることが研究で明らかになっています。当院では、ACPを積極的に取り入れた緩和ケアを行っています。まずは、患者さまから医療者へ、お気持ちをお伝えいただければと思います。

セルフメディケーションって何ですか?!

街のドラッグストアなどで、お薬コーナーに第1類医薬品といった記載や、店員の方の名札に登録販売員と書かれているのをご覧になったことはないでしょうか。近年、世界では「セルフメディケーション」が推進されています。セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」で、世界保健機関(WHO)で定義されています。すなわち、「自分の健康は自分で守りましょう」ということです。

健康を守るためには、まずはバランスの良い食事、適度な運動、睡眠が大切です。でも、どんなに生活習慣に気を付けていても、風邪をひいたり、胃の調子を悪くしたり、怪我をすることもあります。そのために、病院や診療所があるわけですが、症状が軽度の場合、OTC(医薬品)一般用医薬品を利用して、自分で手当て(セルフメディケーション)することもできます。

OTC(Over The Counter)医薬品とは、医師の処方箋が必要な医療用医薬品とは異なり、自分で選択して購入することができます。

診察してもらわずに手問がからず、自分の都合の良い時間帯に、すぐに購入可能です。しかし、自分で選択できると言っても、たくさんある薬の中から、それが今の自分に必要なか見極めることは難しいと思います。まずは、薬剤師や登録販売員に相談していただく。

では、登録販売員がいれば、薬剤師は必要ないのでしょゆか? 実は、OTC医薬品には、第1類、2類、3類と分類されており、第1類医薬品は薬剤師でなければ販売できません。つまり、ドラッグストアで第1類医薬品を取り扱っていても、薬剤師がいない時間帯は購入できないことになっています。第1類医薬品は、副作用や相互作用などの項目で安全性上、特に注意を要するもので、これまで処方箋がなければ購入できなかった医薬品なども含まれます。購入の際は薬剤師の説明をよく聞き、使用前にも再度、説明書を確認するようにしましょう。もちろん他の医薬品も、正しく使用することが重要なので、説明書をよく読み、薬を開始してから普段と異なる症状(副作用)がないか注意しましょう。

最後に、症状がひどい場合や、OTC医薬品を用いても改善しない場合などは、我慢せず受診するのうにしてください。

お薬

薬剤部 山瀬 大雄

ミニ知識

ご意見箱

～ご意見・ご提案をお寄せいただき
ありがとうございます～

広く皆さまからのご意見・ご要望を伺う機会を増やすことを目的として、各階デイルーム他にご意見箱を設置しています。また、1階正面玄関ホールとデイルームにおいてもご意見への回答を随時公開しておりますので、そちらもご覧いただければと思います。

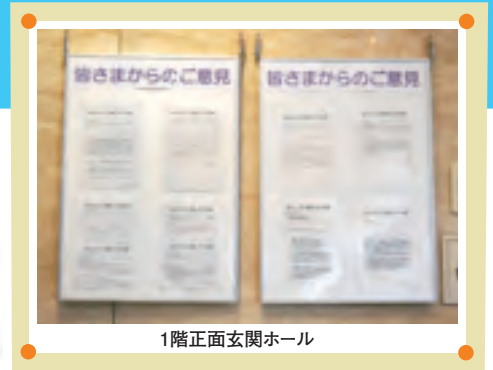
皆さまからのご意見

診察のときに診察室に事務員がいるのはなぜですか。
個人情報が出れないか心配です。

A 診察室で業務を行っている事務職員は、医師の事務作業の軽減を図り、円滑な外来診療を行うことを目的として配置している医師事務作業補助者です。

医師事務作業補助者の主な業務は、①患者さまへの検査等の案内業務 ②電子カルテシステムへの入力業務 ③文書作成補助業務 などです。

当院では、今年1月の電子カルテシステム導入に合わせて医師事務作業補助者の拡充を図っております。患者さまの個人情報の取り扱いについては、万全を期すよう研修・スタッフミーティングなどを通じて、周知徹底しております。今後とも病院運営にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



1階正面玄関ホール



Report

国際医療救援部 池田 聡子

ハイチ大地震復興支援

2010年に発生したハイチ大地震の震源地に最も近いレオガンという町で、2012年2月から2013年3月まで、保健医療活動の責任者として活動した当院の池田看護師長からの報告です。



現地のお母さんから聞き取りをする池田看護師長(左)

地震直後のレオガンは、赤十字をはじめ多くのNGOが緊急支援のために活動していましたが、現在では多くが撤退し、赤十字は復興支援へと活動を移行しています。当院では私のほか現在、安藤看護師も長期派遣され、保健医療活動と水・衛生事業の援助を行っています。

2012年秋号の本紙において、ハイチでの赤十字の活動の主役は、地元のボランティアさんたちであることを述べ、彼らが行う健康に関する普及活動について触れました。今回は、同じくボランティアさんたちによる母子保健の4つの啓蒙活動について報告いたします。

1 家族計画

人口統計機関が実施した2012年のハイチでの調査結果では、65%がまったく避妊をしていませんでした。地域保健のボランティアさんたちは、家庭訪問や集団教育を行う際に、家族計画の必要性を地域の住民たちに説明して回ります。

子どもを7人も持っているお母さんが以前は、「避妊はしない」と言っていたのですが、何度も家庭訪問して説明することと、今では家族計画の必要性を理解してもらえるようになってきています。

2 医療施設での出産

地域保健のボランティアさんたちは、医療施設でお産することの重要性も説明して回っています。活動が長くなってきている地域で、「お母さんは医療施設でお産するようになりましたか?」と聞くと、すべてのボランティアさんたちが「Wiii(仏語でOUI、「はい」の意味です)と、それはそれはうれしそうに言っていました。もちろん、それを100%信頼はできないのですが、活動を始めたばかりの町では反応がなかったことを考えると、ボランティアさんたちが実感として感じるほど、行動変容があったのではないかと、とポジティブに受け止めています。

3 栄養と母乳

ハイチでは母乳の与え方が問題です。WHOは、2歳まで母乳を与えることを推奨しています。しかしハイチでは、6カ月未満の子どもに対しても離乳食のような

食事を与えることが非常に多く見られます。赤ちゃんは胃の形も違えば、歯もまったく生えておらず、吐き戻したり下痢をしたりして、脱水症状になる場合もあるようです。下痢をしない場合でも、赤ちゃんに必要な栄養が十分ではないため、栄養失調になります。

ボランティアさんたち同士の見聞交換の場では、「母乳栄養の必要性を理解してもらって、習慣を変えていくことにつながることはとても難しいが、どのようにしたらいいのかわか?」といったことが話し合われ、結論としては、地道に啓蒙活動や母乳栄養推奨キャンペーンなどの活動を続けていくこととなりました。

4 予防接種

ハイチでのワクチン接種率は、かなり低いのです。そこで予防接種率の低さを改善するために、ハイチではときどき、大々的な予防接種キャンペーンが行われます。赤十字のボランティアさんたちは、ハイチの保健省が計画し、WHOが協力して行う予防接種キャンペーンを、「キャンペーンに子どもを連れて行きましょう」と啓蒙することで補佐しています。

しかし、スムーズに行かないことも多く、地域内の対象者数を保健省が明確に把握していないことや、どれくらいかの予防接種チームがレオガンで活動するのでも、ぎりぎりまで不明で、計画を立てるだけでも苦労しました。

ワクチンの接種率を上げるというのは、簡単そうで非常に難しいものです。私の実感としては、キャンペーンを行うより、地道に啓蒙活動を行い、確実に定期的な予防接種を行うよう勧めていくことが、最も効果的でなおかつ継続的だと思っています。

ハイチ赤十字のボランティアさんたちの活動が息の長いものとなるよう、引き続き日本からも見守っていきたいと思います。



ボランティア代表との年2回の地域活動意見交換会



ボランティアさんたちへのトレーニングの様子

Event ひな人形の展示を行いました



2月5日から3月4日まで、今年も正面玄関ホールにひな人形を展示いたしました。

おひなさまには、子どもの身代わりとなり、事故や病気から守ってくれるように、また、子どもの成長と幸せを願う心が込められているとされています。立派で美しいひな人形は、多くの患者さまやご家族の方々の目を引き、足を止めて見入っている方もおられました。

Seminar 大阪赤十字病院「第3回 世界腎臓デー」啓発イベントを開催しました

●第3回テーマ「～腎臓を大切に～」

毎年3月の第2木曜日は、「世界腎臓デー」と定められています。当院でも、慢性腎臓病の早期発見と治療の重要性をより多くの人々に知っていただくために、「世界腎臓デー」の啓発イベントを実施しており、今回で3回目となります。今年は3月14日(木)午前10時から12時まで1階玄関ホールで開催されました。

当日は、午前10時～約1時間、医療相談・血圧測定・栄養相談・薬剤相談のブースを開設し、それぞれご相談をお受けしました。その後、栄養管理課 山口管理栄養士から「腎臓にやさしい食事」について、続いて薬剤部 能木薬剤師から「腎臓と薬」について、最後に腎臓内科・菅原部長から「あなたの腎臓を大切に」という内容で講演が行われ、多数の方々にご参加いただきました。



Seminar 「親と子の防災体験セミナー」を開催します

夏休みに小学4～6年生とその保護者を対象とした防災体験セミナーを今年も開催いたします。詳細については6月に当院ホームページに掲載予定です。ぜひ、お申し込みください。

- 日 時／平成25年8月4日(日)
- 場 所／大阪赤十字病院敷地内
- 申込締切／7月12日(金)
- 申込方法／ハガキまたはEメール、FAXにて下記項目をご明記の上、ご応募ください。

- 参加者の ①郵便番号 ②住所 ③電話番号 ④保護者名と年齢
⑤学校名 ⑥生徒名と年齢

編集後記

春の季節が始まりました。暖かくなって、服装も軽くなり、花見や旅行など、出かけるにも楽しい時期です。また、春は出会いの季節でもあります。新しい仲間と、どこかへ出かけてみるのもいいですね。新たな発見ができるかもしれません。楽しい春が訪れますように。(T.T)

Seminar 大阪赤十字病院「第6回 市民健康講座」を開催します

●テーマ「教えて! こどものアレルギー」について

第6回市民健康講座は、「教えて! こどものアレルギー」というテーマで開催いたします。

今回は、こどものアレルギーについて、「アナフィラキシーって何?」「ぜん息は治るの?」「上手な吸入のしかた」「軟膏をうまく塗ろう!」という内容で、小児科医師・呼吸器内科医師・薬剤師がお話します。

また、今回は講座後、日本赤十字社大阪府支部の「幼児安全法」指導員が、乳幼児の心肺蘇生法についてお話と実技を行います。どうぞお気軽にご参加ください。

■日 時／平成25年5月18日(土) 午後2時～午後4時頃まで

■会 場／大阪赤十字病院 4階講堂

■参加費／無料

■募集人数／60名(先着順・事前申し込みが必要です)

※お子さんの参加・お預かり(先着10名まで)については申込み時にご相談ください。

■募集期間／4月22日(月)～5月13日(月)

※土・日・祝日、当院創立記念日(5月1日)除く

■お申し込み／大阪赤十字病院 2階⑧番窓口 (受付時間:8時30分～17時まで) (問い合わせ)担当:医療社会事業課 06-6774-5192(直通)

Event 「スプリングコンサート」が開催されました

3月17日(日)午後2時から1階正面玄関ホールを会場に、スプリングコンサートが開催されました。

今回は、当院放射線診断科部の小山貴副部長や大谷紗代・本田菜也両放射線診断科部専攻医によるピアノ演奏、竹田治彦消化器内科部医師によるバイオリン演奏、そして小山副部長の紹介でご出演いただいた高橋幸枝さんによるソプラノの歌声が披露されました。演奏された曲は、ドビュッシーやバッハ、ベートーベンなどのクラシックや、美空ひばりの歌で知られる「りんご追分」などでした。

最後は、観客の皆さまと「ふるさと」を合唱してフィナーレを飾りました。

会場は入院中の方やお見舞いに来られた方などで、200名を超える観客が来場され、演奏ごとに温かい拍手が響きました。終演後のアンケートでは、入院して初めて接した病院コンサートを楽しんだという声や、付き添いの方も楽器や歌声の響きに心を癒されたという声をいただきました。

当院では、今後も病院内で入院中の方や来院者の方々にお楽しみいただけるコンサートを開催する予定です。次回は、当院ホームページや院内ポスターなどでご案内いたします。どうぞご期待ください。

<http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>



外来診療担当表

平成25年4月1日現在

午前診療 午後診療

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器内科		津村	中島	邊見	井口	齋藤	
		松田史	金坂	圓尾	喜多	西島	
		関川	岡部	大崎往	米門	圓尾	
		大原		坂本	竹田		
		津村	中島	邊見	丹家	齋藤	全て予約制
		松田史	金坂	丸井	奥	西島	
		関川	遠藤	福原	米門	佐田	
消化器内科(肝臓外来)		喜多	大崎往	木村	那須	西川	午後は予約制
糖尿病・内分泌内科		武呂	松尾浩	米光	武呂	南部	午後は予約制
		米光	南部	午前:松田史 午後:村上隆	松尾浩	午前:村上隆 午後:松田史	
		武呂		(糖尿病療養指導外来)	米光		
血液内科 (移植外来)		篠原	水谷	花岡	金子	平田	全て予約制
		金子	平田	通堂	水谷	通堂	
		篠原	水谷	花岡	金子	平田	
		辰巳	小西	通堂	三谷	通堂	
リウマチ・膠原病内科		村上孝	村上功(予約)	村上孝(予約)	伊藤博(予約)	伊藤能	全て予約制
		村上孝	村上功	村上孝			
腎臓内科		菅原	越川	大崎啓	土井	越川	全て予約制
		越川	土井	菅原	大崎啓	菅原	
		菅原	越川	大崎啓	土井	越川	
		越川	土井	菅原	大崎啓	菅原	
循環器内科		担当医	田中	伊藤	長央	福地	全て予約制
		林	伊藤	稲田		田中	
		(第1-3-5週長央 第2-4週福地)	田中	伊藤	長央	福地	
不整脈内科		内山	牧田		牧田		全て予約制
		(ペースメーカーICD 担当医)	牧田		内山		
心臓血管外科		中山(予約)	中山(初診)		中山(初診)		全て予約制
小児科		(血液外来 藤野)	(リウマチ・ アレルギー外来 住本)	葭井	(腎臓外来 住本)	(血液外来 朴)	血液外来は予約・紹介のみ
		(アレルギー外来 安西)	竹川	(アレルギー外来 坂本)	(神経外来 肥田)	金岡	
		(神経外来 奥野)	植村	高野	正岡	新居	
		(血液外来 藤野・朴)	(血液外来 朴)	(血液外来 藤野・朴)	(血液外来 朴)	(血液外来 朴)	
小児外科		松川		松川			
	外乳腺外科	福田	伊藤	山浦	吉村	中島研	専門外来は予約のみ
		花房	金谷	中島康	有本	岡田	
		奥村	有本	鈴木	横山	金澤(初診)	
		露木	山口	(乳腺再診 露木)	(乳腺新患 露木)	馬場園	
		福田	伊藤	山浦	吉村	中島研	
		花房	川口	中島康	有本	岡田	
整形外科	渡邊	鈴木	坂本	大浦	富原	全て予約制	
	富	別當	堤	別當	福田		
	(脊椎外来 坂本)	(膝関節外来 大浦)	福田	(スポーツ肩外来 鈴木)	(第1-3-5週渡邊 第2-4週堤)		
リハビリテーション科		好井	好井	好井	好井	富原	
脳神経外科		米田	山下	西村	山下	朝日	予約・紹介のみ
		担当医	朝日	担当医	西村	米田	
		担当医	土井	担当医	吉岡	金本	

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		高橋	鈴木	中村	金田	峠	全て初診のみ
		鈴木	中村	金田	永井	鈴木	全て再診のみ
呼吸器内科		(喘息外来を 兼ねる 吉村)			西坂	若山	※禁煙外来は 午後のみ
		網谷	西坂	花岡	多木	(喘息外来を 兼ねる 吉村)	
		花岡	中川	若山	有安	中川	
		吉田	多木		網谷(予約)		
呼吸器外科			中出	渡辺		川邊	
			田中			山崎	
産婦人科		午前:川島 午後:松尾	芦原	(第1-3-5週古田 第2-4週松尾)	午前:堀内 午後:河原	泉	午後は再診のみ ※月～金曜日 助産師外来あり
		午前:泉 午後:古田	(第1-3-5週松尾 第2-4週古田)	河原	吉岡	三瀬	
		吉岡	堀内	川島	芦原	長野	
泌尿器科		大久保	光森	前野	西村	岩村	初診(紹介)・予約のみ
		岩村	住吉	光森	前野	大久保	全て予約制
		河野	西村(紹介)		住吉	河野	
		大久保	光森	前野	(前立腺外来 西村)		
		岩村	住吉	光森	前野		
	河野			住吉			
眼科		高山	中川	石井	中川	岡本	〈火・木〉 再診は予約のみ
		秋元	担当医	午前:秋元 午後:中川	担当医	田口	
		廣井	大中	田口	大中	高山	
		岡本		廣井		石井	
耳鼻咽喉科 頭頸部外科		古田	吉松	吉松		古田	
		田中	平塚	田中	担当医	平塚	
		小山	小山	山田	担当医	渡邊	
皮膚科		立花	立花	加畑	立花	加畑	全て予約制
		赤木	加畑	赤木	赤木	太田	
		中東	太田	中島	中東	中東	
形成外科		重吉	辻	重吉	担当医	内藤	
精神神経科		吉田	早川	吉田	早川	吉田	
		久保	和田	中神	植野	和田	
		担当医	(初診外来 担当医)	土戸	(初診外来 担当医)	担当医	
放射線診断科		藤堂	塩崎	前倉	小山	岡田	診断
		小山	(外科)	塩崎	(外科)	大谷	検査(透視)
		岡田・小嶋	藤堂・小山	小山・岡田	小嶋・塩崎	前倉・小山	検査(CT)
		小山	前倉	本田	岡田	大野	検査(MRI)
		塩崎	岡田	(循環器科)	大嶋	藤堂	検査(RI)
		小山・前倉	大野・塩崎	塩崎・前倉	岡田・前倉	大谷・塩崎	検査(CT)
放射線治療科		岡田	小山	岡田	塩崎	前倉	検査(MRI)
		塩崎	前倉	藤堂	小山	岡田	検査(RI)
		石垣	中村	担当医	中村	石垣	
		中村	石垣	担当医	石垣	中村	
	中村	石垣	担当医	石垣	中村		
	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
歯 口腔外科		井上	杉立	本橋	担当医	担当医	全て初診(紹介)のみ
		杉立	本橋	杉立		杉立	全て再診(予約制)

- 受付時間(月～金) (診療開始は午前8:45からです)
 - 初診の方/月曜日～金曜日 8:30～11:30 ●再診の方/月曜日～金曜日 8:00～11:45
- 休日 ●土曜日・日曜日・祝日・5月1日(本社創立記念日)・12月29日～1月3日
- 診察券 ●診察券は全科共通で使用いたしますので、ご来院時には必ずお持ちください。
- ご面会 (病状によってこの限りではありませんが、必ず病棟の看護士にご相談ください)
 - 平日/14:00～19:00 休診日/10:00～12:00、14:00～19:00 ●小児病棟(平日・休日とも)/14:00～19:00
- 保険証等 ●保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

■平成22年12月1日より
当院は敷地内全面禁煙です

当院は平成22年12月1日より、敷地内全面禁煙を実施します。ご理解とご協力をお願いいたします。



異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各科外来にお問い合わせください。

お問い合わせ/TEL:06-6774-5111(代表)
 (大阪赤十字病院) <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/>
 (赤十字全般) <http://www.jrc.or.jp/>

